

## 海外紹介

## 世界の鍼灸コミュニケーション (6)

## — 世界鍼灸雑誌 —

World Journal of Acupuncture-Moxibustion

黒須幸男

世界鍼灸学会連合会副会長、(社)全日本鍼灸学会参与

## 1. 創刊の経緯

本誌の発行母体である World Federation of Acupuncture-Moxibustion societies (WFAS) : 世界鍼灸学会連合会(世界鍼連)は、1987年11月北京において設立され、1997年は10周年を迎えることになる。そこで、過般ニューヨークで開催された代議員総会(会員総会)で、恒例の国際シンポジウムを北京で行い、記念行事を併せて開催することが決定された。

さて、本誌は1990年12月パリで行われた世界鍼連執行委員会で、学術雑誌を年4回発行することが決定され、その翌年の1991年6月、標記「World Journal of Acupuncture-Moxibustion」Vol.1が創刊された。しかしこの年度は発行するための体制が十分でなかったためか年1回の発行で終わった。1992年から1996年までは順調に発行されている。雑誌のサイズはA4で、各号とも64ページであるが、時に65ページにわたることがある。内容はすべて英文である。なお、本誌の発行は独立採算制なので、希望者はだれでも予約購読ができる。

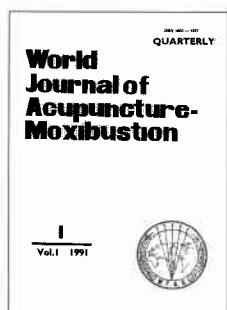


図1 World Journal of Acupuncture-Moxibustion (創刊号の表紙)

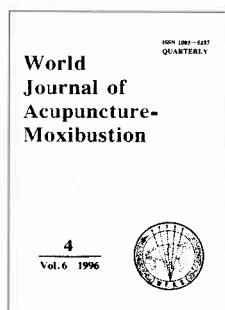


図2 World Journal of Acupuncture-Moxibustion (最近号の表紙)

## 2. 雑誌の内容

本誌は、発刊以来最新号(Vol.6No.4/1996)に至るまで21号に及び、掲載された論文等の記事は総計325編にのぼる。そのうち、臨床観察185編(57%)、実験研究35編(11%)、鍼麻醉8編(2.5%)、鍼灸教育20編(6%)、レビュー13編(4%)、短報26編(8%)、会員学会等紹介記事4編(1%)、器具2編(1%)、抜粋10編(3%)、ニュース8編(2.5%)、ほか14編(4%)である。

以上のように内容は臨床研究に関するものが大部分である。したがって、ここでは特に「臨床観察」での研究対象疾患について列記してみよう。

脳・神経系疾患では、顔面麻痺に関するものが8編、脳卒中5編、帯状疱疹4編、頭痛、脳梗塞及び坐骨神経痛各3編、神経性皮膚炎2編、脳障害、続発性灰白髄炎、失語症、三叉神経痛、顔面痙攣、眩暈、吃逆、続発性脳血管性発作、痛覚過敏各1編である。

精神系疾患では、精神病2編、神経症、不眠症各1編。

耳鼻咽喉科系疾患では、アレルギー性鼻炎、鼻出血、耳鳴り、喉頭curbuncle各1編。

眼科系疾患では、視神経萎縮症2編、若年性近視、眼瞼下垂、急性結膜炎、アフリカ流行性出血性結膜炎各1編。

呼吸器疾患では、喘息2編、風邪、気管支炎、気管支拡張症各1編。

消化器疾患では、胃下垂3編、胆石2編、慢性萎縮性胃炎、慢性表層性胃炎、胃・十二指腸疾患、消化性潰瘍、難治性消化性潰瘍と慢性胃炎、胃運

動障害、急性・慢性胆のう炎、過敏性結腸症候群、急性腹症、急性細菌性赤痢各1編。

産婦人科系疾患では、月経困難症3編、慢性骨盤炎、続発性無月経、急性乳腺炎、乳腺過形成、閉経期症候群、分娩後尿閉、不妊症、外陰部白斑、妊娠嘔吐各1編。

外科系疾患では、脳外傷、重症頭蓋骨損傷、足の壊疽、胃切除術各1編。

泌尿器疾患では、慢性前立腺炎、前立腺過形成、尿路結石症、尿貯留、インポテンツ、流行性出血熱各1編。

整形外科疾患では、頸部脊椎症8編、頸椎円板切除術、脊髄圧迫、腰筋緊張、大腿四頭筋障害、Restless legs syndrome、急性腰部捻挫、腰・下肢痛、背・腰部痛、整形外科後鎮痛、腰椎骨過成長、五十肩、軟部組織の急性捻挫、リウマチ性関節炎、大腿神経の神経炎、急性軟部組織疾患、軟部組織障害、結合組織炎、スポーツ外傷、訓練外傷、各種疼痛(肩・頸・上肢・下肢・腰部)各1編。

循環器疾患では、冠状心疾患2編、狭心症、不整脈、病的静脈洞症候群、失神、老人性貧血、輸血・体液浸出に対する反応、低脈圧症候群、高血圧症、心電図と心機能、ベンゼン誘導白血球減少症、心臓収縮時における電気鍼の影響各1編。

代謝・栄養・内分泌腺疾患では、甲状腺炎、甲状腺機能不全症、甲状腺機能亢進症各1編。

小児科疾患では、小児夜尿症2編、小児の薬物性難聴、小児消化不良症、小児下痢、小児麻痺各1編。

中医学的病像群では、中医学症候群、脾虚、気血の調整、Bi・Tan・Wei各症候群各1編。

その他では、オピオイド嗜好、エイズ、癌、免疫機能、経穴処方、経穴の低電気抵抗、抜歯、健康保持など14編である。

治療法は多岐にわたり、いわゆる中国鍼法100、電気鍼14、灸12、耳鍼11、経穴注射10、吸角療法9、レーザー鍼7、頭鍼法、貼付療法、埋没療法(腸線、リング鍼使用)、瀉血各6、磁気療法5、灸頭鍼、推拿各3、刺絡、火鍼、棒灸、指圧各2、足鍼法、眼鍼、灸、梅花鍼、温罨法、赤外線、氣功等各1である。以上のように中国鍼法と呼ばれるものが圧倒的に多く、次いで電気鍼、灸、耳鍼、

経穴注射が10~14で、その他は1~10である。

次にその他の項目について箇条書きに述べてみよう。

- ・実験研究としては、ラットや家兎を使用している基礎研究や臨床実験が主である。
- ・鍼麻醉は、頭蓋と大脳の手術に対する鍼麻醉に関するもの3編、SSPによる歯科麻醉、四肢における整形外科麻醉等である。
- ・鍼教育は、鍼灸の基礎理論や臨床に関するシリーズが主なものである。
- ・短報は、すべて臨床報告である。
- ・抜粋は、主としてWHOや中国国内の鍼用語の標準化に関するものである。
- ・レビューは、臨床に関するものやエイズを含む免疫に関するものなどである。

### 3. 最新号 (Vol.6 No.4/1996) の目次

#### 臨床観察

- (1)頸部督脈経の鍼灸による頸椎症205例治療の臨床観察
- (2)高血圧症65例の透刺鍼治療における臨床観察
- (3)圧痛点の鍼による軟部組織の急性捻挫に対する治療効果の観察
- (4)鍼と経穴ブロックによる末梢性顔面麻痺200例の臨床分析
- (5)鍼による卒中・続発症99例の治療
- (6)薬物入り棒灸により治療した脾虚の治療効果に対する観察
- (7)Xi pointの鍼による疼痛症例282例の治療効果における観察
- (8)磁気回転式梅花針と赤外線照射により治療した大腿外側皮神経の神経炎36症例
- (9)圧痛点刺針による原発性三叉神経痛35症例の治療

#### 実験研究

- (1)老年者の赤血球免疫性と遊離基に対する薬物入り固形艾灸の作用
- (2)EHFVに感染したラットの5-HTの変化と免疫機能における灸の効果

#### 短報

- (1)前距腓靭帯運動傷害11例に対する照海穴と丘墟穴の鍼治療

- (2)菱形筋挫傷32例の治療に対する耳穴圧迫療法  
 (3)外陰白斑症80例の鍼治療における臨床観察

### 鍼灸教育

鍼灸講義：

第Ⅰ部 鍼灸の基礎

足の三陽経

第Ⅱ部 臨床鍼灸

胃痛と嘔吐

### 4. 雑誌の評価

今日、鍼灸は伝統医学としてWHOでも高く評価され世界的に普及されている。このようなとき世界の雑誌として「World Journal of Acupuncture-Moxibustion」が数年前に発刊されたことは鍼灸の学問的高揚のためきわめて意義のあることである。

本誌は発刊以来6年、その間21号を数えるまでになり投稿数も325編に及ぶが、執筆者はほとんど中国で、それ以外の国では臨床観察及び実験研究が各2編、抜粋が3編、会員学会紹介2編、それにニュースとしての投稿がわずか1件で、計10編(3%)にしか過ぎない。編集部が鍼のメッカ中国とはいえあまりにも少ない数である。内容的には日本はもとより世界には中国の研究に勝るとも劣らない立派な研究があるはずである。

本部でも各国からの投稿者を呼びかけているようだが、まだその趣旨が十分伝わっていないのが現状である。本邦からの投稿者も今までに1人しかいないので、特に大学に席を置いている鍼灸関係の研究者や学位を取得されたかたはその成果を英文で投稿されることを望むものである。

なお、読者層は各国の鍼灸師、中醫師、医師、研究者、その他である。

### 5. 雑誌中の論文の検索法

確かなところでは本誌のデータベースについては、かつてWHOが関与し作られた“TCMLARS”(Traditional Chinese Medicine Literature Analysis and Retrieval System)に収録されている。いまのところ総索引は発行されていないようである。

表1 発行元、発行形態・部数、購読料、購入方法

発行元：Editorial Department：World Journal of Acupuncture-Moxibustion  
 No.18 Beixincang, Dongcheng District, Beijing 100700, P.R.China.  
 Tel：+86-1-401-4411 ext.2925  
 Fax：+86-1-401-3968

発行形態・部数：年4回発行 毎回1000部  
 雑誌の価額：各号\$15.00 1年\$60.00  
 2年\$110 (航空・送料含む)

購入方法：小切手ないし為替で発行元に注文